

学校経営方針

京都市立西院小学校

1. 学校教育目標

夢をもち、心豊かにたくましく生きる子どもの育成
～互いに認め合い、高め合う西院の子～

子どもたちが、「こんな自分になりたい」「あんなふうになりたい」という夢や「憧れ」、「希望」をいっぱい膨らませ、目標実現のため、心豊かにたくましく伸びて行ってほしい。これまで本校で大切にしてきた人権教育を基盤とし、互いに認め合い、高め合う子どもを育成し、一人一人の力を大いに発揮できる教育環境を整えていきたい。

2. 目指す学校像 子どもが毎日楽しく通える学校

3. 目指す子ども像

- ・自ら進んで学習する子（知）
- ・自分も友達も大切にする子（徳）
- ・身も心も大切にする子（体）

4. 今年度の重点 学力向上（子どもが「わかった」「できた」と満足感を得られる授業） → 子どもの**自己肯定感**を高める。

5. 目指す子ども像の実現に向けて今年度特に力を入れたい取組

（1）算数科授業におけるユニバーサルデザイン化授業の構築

すべての子どもが「わかった」「できた」と感じられるよう、授業でどのような工夫や支援が必要か、校内研究として取り上げ、全教職員で取り組んでいく。

（2）「西院の子 心でつなぐ5つのやくそく」の実践

- 1 心の通った挨拶
- 2 心のこもった掃除・整頓
- 3 素直な心で「ありがとう」「ごめんなさい」
- 4 心で聞き、心で話す
- 5 夢いっぱいの心

人権教育を基盤とし、温かな気持ちで人に接することができる子どもを育てる。

→ 子どもの**自己有用感**を高める。

6. 目指す教職員像

子どもの手本となる教職員

（教職員は、子どもにとってモデルとなる存在であり、人的環境の一つである。）